

康德三年四月

滿洲國產業概觀

「水產」編一

目次

水產事情

一、概要

(1) 北滿淡水漁業

(2) 松花江水系

(3) 烏蘇里江水系

(4) 呼倫湖水系

(5) 該爾古訥河及黑龍江水系

(6) 漁撈法

(7) 取引狀況

(8) 海洋漁業

(9) 漁業狀況

(10) 漁撈法

(11) 取引狀況



二、水産關係施設

- (1) 營口水產局
- (2) 漁業處分
- (3) 黃海北部及渤海ニ於ケル漁業保護區域ノ設定
- (4) 熊岳城前海出漁協定ノ改訂
- (5) 水產市場ノ統制監督

一、概要

海岸線ガ極メテ短ク海洋漁業ニ惠マレザル滿洲國モ淡水方面ニハ幾多ノ長大ナル河川湖沼ヲ擁シ漁業上此ノ方面ニ頗ル特異性ヲ有シテ居ル河川ノ主ナルモノハ北部滿蘇國境ヲ爲ス黑龍江、東部國境ヲ流ルル烏蘇里江、北滿中央部ヲ貫流スル松花江及之ニ流入スル嫩江、第二松花江、牡丹江ノ四河、南滿中央部ヲ滲ス遼河及之ニ合流スル渾河、朝鮮トノ國境ヲ流ルル鴨綠江等デ漁業上主トシテ利用シ得ル區間ノミニテモ約一萬滿里（約千三百里）ニ達シテ居ル。湖沼ノ主ナルモノハ東部滿蘇國境ニ於ケル興凱湖及小興凱湖、牡丹江ノ水源地ヲ爲ス鏡泊湖蒙古東部ニ位スル呼倫湖、貝爾湖等デ其ノ面積ハ約八千四百四十方滿里（約百三十八方里）ニ及ンデ居ル

斯ノ如ク我國ハ頗ル廣大ナル内水面ヲ包容シテ居ルガ河川湖沼ハ其ノ態様上海洋ニ比シ利用面積ガ大ナルノミナラズ漁船漁具漁法等モ輕便簡易ヲ以テ足ルノデ産業上ノ利用價值ハ頗ル高イ。加之此等ノ河川湖

沼ニハ生棲魚族ノ豊富ナルゴトハ殆ド他ニ其ノ比ヲ見ザル状態デアツテ魚種ハ現在判明セルモノニテモ百三十五種ノ多キニ及ビ鯉科ニ屬スルモノガ約八割ヲ占メ鮭科ニ屬スルモノガ之ニ次イデキル

然シ漁業ハ治安交通運輸其ノ他種々ノ關係上概ネ沿岸都市附近ニ密集操業シ未ダ極メテ廣大ナル未開水面ヲ存シ將來ノ開發ニ俟ツ所ガ頗ル大デアル

海洋方面ハ西ニ遼東海灣ヲ擁シ東ハ黄海ニ接シ其ノ間遼東半島ノ突出ニ依リ漁場ハ全ク二分セラレ海岸線ハ大ナル屈曲ニ乏シク遼東海灣側約三百五十哩、黄海側約百三十哩全延長約四百八十哩デアル。而シテ沿岸ハ一帶ニ淺海ヲ爲シ稚魚ノ成育ニ適スル爲魚族ノ産卵ニ洄游スルモノ頗ル多ク潮汐干満ノ差激シキヲ以テ之ヲ利用シテ爲ス漁法ガ普及發達シテ居ルガ猶未ダ幾多開拓ノ餘地ヲ存シ就中優秀ナル沿岸遊動漁業ハ相當有望デアル。然シ沖合漁業ハ夙ニ日本側出漁船ニ依テ開拓占據セラレ既ニ殆ンド進出介入ノ餘地ヲ認メラレヌ

現在ノ水産額ハ淡水方面ニ於テ約五百五十萬圓、海洋方面ニ於テハ其ノ半額約二百五十萬圓合計僅ニ八百萬圓ニ過ギズ高級海産鮮魚、高級鹽乾品、罐詰類等年額八百餘萬圓ノ輸入ヲ爲セルモ漸ク國內要求額ノ半ヲ充ス状態デアツテ生産地方、都市附近鐵道沿線ヲ除クノ外僅ニ冬期凍魚ノ供給ヲ受クルノミデアル

斯様ニ水産物ハ著シク供給不足ノ状態ニアルガ輸入品ハ運賃關稅其ノ他諸掛等ノ關係上相當高價トナル爲生活程度低キ一般國民ノ需要ニハ適セザルベク一面又食料品ノ如キハ日常ノ慣用嗜好品ニ非ザレバ縱令廉價品ト雖一般的ノ需要増加ハ容易ニ望ミ難キ特殊ノ事情モアルノデ之ガ補給ハ勢ヒ國內水産業ノ興隆ニ俟タザルベカラザル状態ニアル從テ北滿未開水面ノ開發南滿沿海漁業ノ振興ハ極メテ急務デアリ又魚族ガ豐饒テ勞銀ノ低廉ナル等ニ鑑ミ此等ノ漁業ハ最有望デアルト思料セラレル

次ニ製鹽ニ關シテハ海鹽ト地鹽トノ別ガアルガ地鹽ハ産額極メテ少キ

モ、海鹽ニ於テハ海岸線ノ短少ナルニ係ラズ鹽田適地トシテノ干潟地
到ル處ニ展開シ、氣象又採鹽ニ適スル爲現今世界有數ノ產鹽地ト目サ
レテ居ル。海鹽ノ生産高ハ最近五箇年間ニ於ケル平均年産額約四百三
十二萬擔トサレ國內消費量ト略々同量ヲ示シテ居ル。蓋シ之ハ從來ノ
鹽制ガ國內ノ自給自足ヲ目標トシ生産數量ヲ制限シ過剩生産ヲ避ケタ
爲デアルガ既成鹽田全部ヲ復活セシメ且之ニ改良ヲ加ヘルトキハ優ニ
七百萬擔ヲ超過スベク、更ニ國內沿岸ニ散在スル全干潟地ヲ開拓スル
トキハ從來生産量ノ數倍ニ達シ得ベシト云ハレテ居ル
政府ハ建國以來從來ノ鹽業不振ヲ挽回スル爲積極的ニ斯業開發ノ計畫
ヲ樹立シ、大同二年五月工業用鹽輸出暫行辦法ヲ公布シ鹽ノ輸出解禁
ニヨリテ餘剩鹽ノ消化ヲ計リ、更ニ工業用鹽ノ日本向大量輸出ヲ目標
トシテ滿洲鹽業株式會社ヲ創立シ先ヅ渤海沿岸復縣ヲ中心トスル鹽田
ノ開拓及加工鹽工場ノ設置ヲ計畫シツツアリ之ニ依リ我國ノ鹽業ハ今
後年々躍進的産量増加ヲ示スモノト期待セラレル

(ノ) 北滿洲淡水漁業

北滿ニハ嫩江第二松花江其ノ他大小ノ支流ヲ合シ實ニ二〇八萬方滿
里ノ廣大ナル山野ヲ抱擁シテ流ルル松花江水系及露滿國境線ヲ形成
スル烏蘇里江水系ヨリ各種ノ夥シイ淡水魚類ヲ産シ、呼倫湖、鏡泊
湖、興凱湖等ノ湖沼モ亦豐富ナル魚類ノ棲息ヲ以テ有名デアリ、到
ル處好漁場ニ富ンデ居ルガ漁獲物ノ保藏運搬ノ關係上未ダ一般的ニ
開發セラレズ特ニ春秋期漁業ニ此ノ感深ク主トシテ沿岸ノ主要都市
ヲ中心ニ行ハレルニ過ギナイ。各水系ニ屬スル河川湖沼ノ漁業狀況
ヲ概説スレバ左ノ如クデアル

(イ) 松花江水系 全滿河川中漁業ニ最モ重要ナルハ本水系ニ屬スル松
花江本流第二松花江及嫩江本流ニシテ全滿河川漁獲高ノ約七割ヲ
占ムルト云ハレテ居ル。昨年度臨時産業調查局ニ於テ行ヒタル實
地調査ニ據レバ

(A) 松花江本流 (大賚、依蘭) 漁業ハ大體十四區ニ分レ三叉河漁區

下代記漁區、白沙陀漁區、三家窩柵漁區、謝家屯報馬漁區、呼蘭口子漁區、烏河漁區、石頭河子漁區、新甸漁區、木蘭漁區、通河漁區、伊漢通漁區、三姓哈非屯漁區、白彥通漁區等デア
ル
漁業ノ時期ハ大體春夏秋冬ノ三期ニ分レ夏期ハ増水氾濫ノ爲漁携ニ適シナイ

春 期 (陽歷) 自四月中旬至六月下旬

秋 期 () 自九月初旬至結冰期

冬 期 () 自十一月下旬至一月下旬

漁獲高ハ約二八〇〇〇〇斤 二〇〇〇〇〇圓ト推定サレテキ
ル

(B) 第二松花江 (吉林 一 三叉河) 重要漁場ハ大體十一區ニ分レ烏拉衙漁區溪浪口子、白旗屯間漁區沙陀子、老河深間漁區朱河船口漁區域子屯、白土壠子間漁區龍河窩柵、紅石磊間漁區五家站漁區八里營子漁區扶餘漁區等デア
ル

漁業ノ時期ハ殆ド春秋二期テ唯老哨溝附近ノミハ冬期ニ於テモ行ハ
レル

春 期 (陽歷) 自四月中旬至六月下旬

秋 期 () 自九月初旬至結冰期

漁獲高ハ二五〇〇〇〇斤 一五〇〇〇〇圓ト推定サレテキ
ル

(C) 嫩江本流 (三叉河 一 墨爾根) 主要漁場ハ大體二十二區ニ分レ

墨爾根漁區博爾淺花臉邵大綱漁區布西漁區拉哈站漁區寧年站漁區敖乃屯漁區臥牛圖漁區胡蘆頭漁區榆樹崴子漁區富拉爾基漁區青崗屯漁區新開江漁區綽爾河亮子漁區江橋多耐漁區五家大坎漁區他拉哈站漁區後新屯漁區伊代漁區李漁場、山西間漁區月亮泡漁區、菜園子、和尚口子間漁區大賚漁區等デア
ル

漁業ノ時期ハ春秋及冬期テ就中冬期ガ盛デア
ル

春 期 (陽歷) 自四月中旬至六月中旬

秋 期 () 自九月下旬至結冰期

冬 期（陽歷） 自十一月下旬至一月下旬

漁獲高ハ五五〇〇〇〇斤 三七五〇〇〇圓ト云ハレル

(D) 牡丹江 牡丹江ハ源ヲ鏡泊湖ニ發シ頗ル豐富ナル魚類ノ棲息ヲ見ルガ流域地方ノ人口稀薄ニシテ交通運輸不便ナル爲漁業ハ不振ニシテ僅ニ特ニ沿岸住民ノ需要ヲ充タス程度デアル

(四) 鏡泊湖 鏡泊湖ハ濱江省寧安ト吉林省敦化トノ中間ニアツテ其ノ面積ハ五百五十方滿里（約九方里）アリ森林地帯ニ圍繞サレテキル爲水量多ク水深ハ平均百二十尺ト云ハレ魚類ハ頗ル豐富デアルガ治安交通運輸等ノ關係上漁業トシテハ從來殆ンド見ルベキモノガナイ

上記ノ松花江水系ニ於テ生産スル水族ハ八十一種ノ多キニ及ブガ其ノ主ナルモノヲ掲グレバ左ノ如クデアル

◎經濟價值比較の大ナルモノ 鯉魚、鯽魚、黃花魚、白票子、黑魚、通花魚、拘魚、草根魚、黃姑子、江尾把、重唇魚、嚙牙子、胖頭

魚、鬼子魚、者羅魚、達碼哈魚

◎經濟價值比較の少ナルモノ

干條魚、馬口魚、吉句魚、船丁子、紅眼正子、牛尾魚、青根魚、麻連魚、牙羅魚、老母朱、麥穗魚、山年魚、沙姑鰱子、發羅魚、泥鰍、鱖魚、青鱗子、葫蘆子魚、團魚

(一) 烏蘇里江水系

(A) 烏蘇里江 烏蘇里江ニ於テハ淡水魚ノ外ニ鮭、鱒等ノ遼河魚類ヲ饒産スル。漁期ハ鮭ノ産卵期タル陽曆九月十日ヨリ三十日ニ至ル約三週間ガ最モ盛テ漁法ハ對岸ノ露領側テハ專ラ網ヲ用ヒルガ滿洲沿岸テハ空釣ヲ主トスル

(B) 興凱湖 興凱湖ハ滿露東部國境ノ中間ニ位シ其ノ中三分ノ二ハ露領ニ屬シテキル。鯉魚、鯽魚、鰱魚、鮠等豐富ナルモ附近ノ人口稀薄ニシテ需要僅少ノ爲從來漁業トシテ見ルベキモノナク僅ニ半農半漁ノ滿鮮人二三十戸ヲ數フルニ過ギザリシガ新ニ之

ガ開發ヲ計畫スル者アリ當局ノ漁業許可ヲ受ケ準備中デアツテ其ノ將來ヲ頗ル期待サレテキル

(ハ) 呼倫湖水系

蒙古人ハ宗教的慣習上漁撈ヲ行ハザル爲呼倫湖水系ノ如キモ往時ハ魚族ノ繁殖ニ委セラレテキタガ一九〇四年頃露人ニヨツテ烏爾順河ニ漁業ガ行ハレルニ及ビ漸次盛大トナリ、一九一〇年ヨリ一九一四年ノ間ハ漁場三十箇所ヲ數ヘタト云ハレルガ其後減水、濫獲、其ノ他種々ノ政治的原因等ニ因リ衰微シ現在貝爾湖ニ於テハ漁業ハ行ハレズ呼倫湖及其ノ附近ノ河川ニ於テ僅ニ行ハルルニ過ギズ、康德元年度滿人經營者十七人、露人經營者三人其ノ漁獲高ハ六萬二千甫度約十萬圓（大同二年度及康德元年度）デアル

(A) 呼倫湖　ダライ湖トモ云ヒ滿洲里ノ東南方一二〇滿里ニアリ周圍五〇〇滿里、面積二千二百方滿里（三十六方里）ノ細長イ湖水水深ハ概シテ淺ク南方最深處ニ於テ三十尺餘デアル。近時冬

期漁業ハ行ハレズ春秋期ニ漁獲シタル物ヲ蓄養シ冬期之ヲ取上ゲ販賣シ居ル、而シテ漁獲物ノ八〇％ハ鯉魚ト云ハレテキル

(B) 貝爾湖　呼倫湖ノ南方ニ當リ海拉爾ノ西南約四〇〇滿里、呼倫貝爾ト外蒙古トノ境界ニアツテ呼倫湖ヨリ大キク八〇滿里、長サ一二〇滿里ノ橢圓形ヲナシ最深處ハ約百尺ト稱セラレル。呼倫湖ト共ニ古來魚類ノ棲息頗ル豐富デ早クヨリ露人ニヨリ意目セラレ一九〇五年漁業許可ヲ得タルモノアルモ其ノ後政情ノ變化ニ因リ歐露方面ヘノ輸出社絶シ加フルニ國境附近ニ於ケル治安確立セザル爲現時漁業ハ全ク廢絶シテ居ル

(C) 烏爾順河　貝爾湖ヨリ出デ呼倫湖ニ注ギ全長二七八滿里、河幅五〇―六六尺デアル。呼倫湖水系ニ於テ最モ早ク露人ニヨリ漁業ガ行ハレ漁獲高モ莫大ナ數量ニ上ツテキタノデアアルガ減水ノ爲從前ノ如キ盛況ヲ見ルコトガ出來ナイ

(D) 克魯倫河　庫倫ノ東北方ニアル肯特山脈ニ源ヲ發シ東北ニ走リ

呼倫湖ニ入り全長二〇〇〇滿里ニモ及ブガ水量ハ少イ、河幅ハ河口附近ニ於テ四〇乃至五〇尺テ漁場數箇所アリタルモ近時ハ殆ンド廢絶シテ居ル

(二) 額爾古訥河及黑龍江水系

國境河川ニ屬シ相當多數ノ魚族ノ棲息ヲ見ルモ人煙稀薄ノ爲滿洲側漁業ハ殆ンド行ハレテ居ラナイ

(內) 漁撈法

河川湖沼ニ於ケル淡水漁業ハ清朝末期漢民族ノ大量移住以來現在ノ如キ急激ナ發展ヲ遂ゲタモノデアアルガ其ノ歴史ハ相當ニ古ク滿洲最古ノ文化國渤海時代既ニ文獻ニ現ハレ降ツテ契丹(遼)ノ隆盛時代ニハ頭魚宴(年々冬期漁業開始ノ日ニ行ハレル祝宴)ガ第一松花江ニ於テ張ラレタト傳ヘラレテキル從ツテ現在行ハレテキル漁業モ突鉤、撈鉤漁業等ノ原始的ナモノヨリ橈子、大網漁業ノ如キ大規模ナモノニ至ル迄頗ル多種多樣デアリ又ソレラノ一ツ

ツニハ永年ノ變遷ヲ經テ相當精巧ヲ極メタモノモ多イ、以下主要主要漁業ニ就テ其ノ概略ヲ述ベレバ
定所漁業 定所漁業トシテハ橈子漁業、水槽子漁業、張網漁業等ノ定置漁業及大網漁業ノ如キ定所拉網漁業ガ主ナモノデア
アル

(A) 橈子漁業 橈子、又ハ梁子トモ書キ結氷期ニ於ケル漁業デア

アル北滿河川ニ必ズ附隨スル小支流、沼地、入江等ノ口ニ減水期ニ入ル頃ヲ見計ヒ豫メ水底ニ築カレタ土堤ノ上ニ柳條枝ノ簀ヲ張り減水ニ從ヒ魚類ノ本流ニ遁入スルヲ防ダ、冬期減水期ニ當リ柳簀ノ裝置ニヨリ内外水面ニ差ヲ生ズルヲ以テ結氷後コノ一部ヲ切崩シ水面下ノ水ヲ流出セシメ共ニ流出スル魚類ヲ籠ニ受ケ捕獲シ凍魚ト爲シ市場ニ販賣スルノデアアル。此ノ漁業ハ嫩江下流地方ガ盛デ大網漁業ト並ンデ嫩江ノ代表的漁業デアアル

(B) 水槽子漁業 河川ノ入江又ハ河川ニ通ズル沼澤等ガ三寸位ノ厚サニ結水シタル時本流ニ於ケル流水ヲ避ケテ魚類ガ之ニ遁入スルヲ待チ其ノ口ニ氷ヲ破リ柳條ノ簀ヲ樹テ其ノ内ニ閉込メラレタ魚類ガ遁レ出デントシテ其ノ簀ニ設ケラレタ陷シニ入ルヲ待チテ漁獲スルモノデアアル

(C) 張網漁業 囊網ヲ河流ニ沿ヒ定着装置シ流入スル魚類ヲ採捕スルモノデ流速早キ深處ヲ漁場トスル普遍的ナ重要漁業デコノ囊網ヲ張網ト云フガ嫩江地方デハ袋河網ト呼バレテ居ル

(D) 大網漁業 大規模ナ地曳網漁業デ網曳場ハ特殊ノ河況ヲ必要トスル爲其ノ漁場ハ一定ノ水面ニ限定セラレル。夏冬共ニ用ヒラレルガ夏季ノ大網ハ魚捕囊ヲ有シナイ、子漁業ト共ニ冬期河川漁業中ノ雙壁ヲ爲スモノデアアル

游動漁業 主ナルモノハ掛網漁業、拉網漁業、鈎釣漁業、掩網漁業デアアル

(A) 掛網漁業 本漁業ハ魚類ヲ網地ニ纏絡セシメ或ハ網目ニ刺サラシメテ爲ス漁業デ何レモ二三人乗ノ小舢舨ヲ用フル流網漁業デアアル、從テ前者ニ用ヒラレル漁具ハ柞蠶絲製ノ糸掛子デ邊花魚胖頭魚ノ漁獲ヲ目的トシ後者ニ用ヒラレルハ綿糸製ノ蹠網デ之ハ特定ノ目的魚ヲ有シナイ、兩者共ニ開江期ノ漁業デアアルガ絲掛子ハ遼河ニ於テハ結水期氷下漁業ニ用ヒラレテキル

(B) 拉網漁業 本漁業ハ一定ノ網曳場ヲ有シナイ小地曳網漁業デ之ニ使用サルル漁具ハ小潑網、鐵脚子網ノ二種ガアル。小潑網ハ大網ノ小形ナモノデ網目モ非常ニ小サク稚魚ヲ目的トスル關係上現在哈爾濱ノ如キ魚價ノ高イ且細民階級ノ多イ大都會附近ニハ相當數操業ヲ見テキルガ繁殖保護上多大ノ障害モアリ其ノ普及ヲ歡迎スベキ漁業デハナイ

鐵脚子網ハ網裾全体ニ連接シテ小網ヲ有スルノガ特長デ地曳網ト船曳網ノ二種ガアルガ船曳網ハ餘リ普及サレテキナイ

(C) 鈎釣漁業 本漁業ハ延繩漁業デアアルガ餌料ヲ用ヒザル空鈎釣漁業ト然ラザル餌鈎釣漁業ノ二種ガアリ何レモ現在河川漁業ノ雄ナルモノデアアル

空鈎釣業快鈎ト稱スル鈎ノ二種ガアルガ共ニ非常ニ銳利ナ鈎デアアル癢々鈎ハ冬季氷下ニ於テ鯉魚ノ漁獲ニ使用サレ黑龍江ヲ主漁場トスル。快鈎ハ癢々鈎ヨリ小形デ又特定魚ヲ目的トスルモノデアハナイガ漁具ノ性質上漁獲魚類ハ十斤以上ノ大形ノモノデアアル開江期ニ於ケル普遍的重要魚業デ特ニ松花江ニ於テハ壓倒的勢力ヲ占メテキル又烏蘇里江ノ鮭漁期ニ於テ大活動ヲスルノハ此ノ漁業デアアル

餌鈎漁業 鈍鈎ト小快鈎ノ二種ガアリ何レモ春秋期ニ行ハレル鈍鈎ハ鯉ヲ目的トシ鈎ノ先端ハ鈍イ、小快鈎ハ快鈎ノ小形ノモノデアアルガアグノアル點ガ違ツテキル邊花魚ヲ目的トシ特ニ邊花鈎ノ別名ガアル

(D) 掩網漁業 施網トハ網ノ二種デ施網ハ普通ノ投網デアアルガハ網ハ施網ヨリ大形デ手デ投ゼズ漁船ノ上カラ延ベテ爲ス漁業デアアル之モ開江期ノ普遍的漁業デ快鈎漁業ニ次グモノデアアル

其ノ他魚筌漁業、突鉤漁業、攪鈎漁業等ノ雜漁業ガ行ハレテキル

漁船 漁船ハ大體大船中船小船ノ三種ニ分レ大船ハ一萬斤乃至二萬斤積、中船ハ二千斤乃至三千斤積、小船ハ五百斤乃至六百斤積デアアル

(2) 取引狀況

北滿ニ於ケル淡水魚ノ取引市場ハ呼倫湖水系ノ漁業ガ華ナリシ頃ハ滿洲里ヲ最大ノ市場トシ、呼倫、貝爾ノ莫大ナル漁獲物ハ凍魚トシテ一旦此ノ地ニ搬入シ哈爾濱、齊々哈爾及舊長春等ノ商人ノ手ヲ經テ殆ンド全滿各地ヘ仕向ケラレ尙一部ハ露國ニモ輸出シ毀販ヲ極メタノデアアルガ呼倫、貝爾ニ於ケル漁業ノ衰微ト共ニ滿洲

20

里ノ取引狀況モ全ク舊態ヲ止メザルニ至ツタ
滿洲里市場ノ垂微ニ代リ現在大取引市場トシテ榮エツアルハ嫩
江ニ於ケル漁獲物ノ集散スル大賚、江橋及松花江産魚類ノ集散地
タル哈爾濱デアアル。大賚ヨリハ新京ニ仕向ケ新京ヨリ更ニ吉林、
奉天等ニ送ラレル。江橋ニテ取引サレルモノハ主トシテ齊々哈爾
四平街方面ニ仕向ケラレル
取引ノ行ハレル時期ハ主ニ冬季十一月以後デアアル。夏季ハ鮮魚ト
シテ遠隔ノ地ヘノ輸送不便ナルト北滿地方ハ減價魚鹽ノ供給圓滑
ナラザル爲僅ニ漁場附近ノ需要ヲ充スニ過ギナイ

(2) 海洋漁業

(1) 漁業狀況

(A) 黃海方面 黃海方面ハ安東、鳳城、莊河ノ三縣ニ亘リ鴨綠江河
口ヨリ關東州境碧流河ニ至ル約百三十哩ノ沿岸テ其ノ海岸線ハ
比較的屈局少ク然モ鴨綠江、大洋河其ノ他河川ヨリ流出スル沈
積物ガ形成スル泥質ノ淺海部ハ遠ク沖合ニ向ヒ發車シ特ニ安東
鳳城地先ニ著シク爲ニ此等ノ地方ニハ適當ナ漁業根據地ニ乏シ
イ從テ漁業ハ主トシテ莊河縣下ニ行ハレ康德二年度營口水產局
ノ調査ニヨルニ黃海方面全般ノ漁業戶數ハ一六二四戶從業員數
ハ五五八人漁業數^{戶數}ハ一六六五隻ニ上ルガ其ノ内七五%ハ莊河縣
下ヲ根據トスルモノデアアル上述ノ海況ノ爲現行漁業モ主トシテ
淺海漁業デアアルガ特ニ定置漁業ニ獨特ノ發達ヲ見セテキル其ノ
他重要漁業トシテハ釣漁業、刺網漁業ガアリ更ニ特有ナルモノ
トシテハ石城島附近ニハ拉網漁業(牡蠣桁曳網)ガ行ハレテ

キルガ何レモ帆船漁業デアリ未ダ發動機船ヲ用フルニ至ツテキ
ナイ

漁獲物ハ蝦類（對蝦ヲ主トスル）黄花魚、鱗刀魚、臺鮫魚、鮫
魚、蠣黃ヲ主トシテ年額約五十萬圓ヲ主トシテ安東ニ消費セラ
ル。鴨綠江ノ銀魚、鱈魚漁場、全江口ノ偏口魚、楊板魚漁業場
ハ著名ナモノデアアルガ遺憾^後乍ラ殆ンド朝鮮側魚民ノ獨占ニ歸シ
テキル。

(B) 渤海方面

渤海方面ハ復、蓋平、營口、盤山、錦、錦西、興城、綏中ノ八
縣ニ亘リ關東州境ヨリ山海關ニ至ル延長三百五十哩ノ沿岸テ内
ニ遼東海灣ヲ抱イテキル黃海方面同様遼河其ノ他大小河川ノ流
出スル沈積物ノ爲概シテ水深淺ク最深部ニ至ツテモ二〇尋内外
デアツテ此等河川ノ河口ニ當ル營口、盤山、蓋平地先一帶ニハ
廣大ナ干潟地ヲ形成シテキル。底質ハ殆ンド全域混質テ東北部
ハ黄色ノ軟混テ深ク掩ハレテキル。

而シテ斯ノ如キ海況ハ魚族ノ餌料デアル浮游生物ヲ豐饒ナラシ
メルト共ニ産卵孵化成育ニ適スル關係上魚類ノ回游スルモノ頗
ル多ク從ツテ至ル所好漁場ニ富ミ盤山沖ノ鱧、鮫魚漁場、熊岳
城沖^{沖ノ黄花魚、鮫魚漁場、熊岳城}、綏中沖ノ對蝦漁場等ハ特ニ著明デア
ル。

康徳二年度營口水產局調査ニヨル漁業戸數四、四九七戸從業員
數一四二一八人漁船數三八三七隻テソノ内漁業戸數ニ於テハ營
口、蓋平各縣各三〇%即チ全体ノ六〇%ヲ占メテキル。之ハ各
地先ニ好漁場ヲ有スルト共ニ背後地トシテ一ハ魚類ノ大集散地
營口市場、一ハ南滿沿船ヲ控ヘ地理的ニ惠マレタ結果デア
ル。今後熱河地方ノ開發、北支地方ノ安定ト相俟ツテ他ノ遼西五縣
モ上述二縣ニ劣ラヌ發展過程ヲトルヘクコノ點黃海方面ニ比シ
多大ノ將來性ヲ有スルモノト思料セラル。

現行漁業ハ黃海方面ト同ジク重要漁業ハ張網漁業、橈網類漁業
ヲ主トスル定置漁業、帆船ニヨル釣漁業、刺網類漁業テ特ニ張

網類漁業ハ營口ニ界溝漁場ニ發達シ同地産額（康德二年度約百三十萬圓）ノ大部分ヲ揚ゲテキル其ノ他此ノ地方ニ特有ナル漁業トシテハ風網漁業、八拉網漁業ガ行ハレテキル風網漁業ハ滿人特有ノモノデ熊岳城沖ノ黄花魚漁期ニ於ケル在來漁業中ノ白眉デアアル。

漁獲物ハ蝦類（對蝦、小蝦類）、黄花魚、鮫魚、鮫、鱈魚等ヲ主トシテ年額約二百萬圓デアアル但シコノ金額ニハ熊岳城沖黄花魚漁場ニ於ケル關東州通漁者ノ水揚高約二十五萬圓ハ計上サレテキナイ。

魚類、漁期、漁場

主要ナモノニ付記載スレバ左ノ通デアアル

魚類	滿洲名		漁期	漁場
	日本名	滿洲名		
鮫魚	サハラ	サハラ	五月、六月、五月、八月	渤海側、鮫魚圈、望海塞、營口沖、菊花島沖、黃海側、安東沖
鮫子魚	スズキ	スズキ	六月、七月、四月下、六月上	渤海側、鮫魚圈、望海塞、營口沖、菊花島沖、黃海側、安東沖
蟹子魚	ニベ	ニベ	七月、九月	營口、蓋平、錦縣、沿海
鮫子魚	ボラ	ボラ	七月、九月、三月、十月	營口、錦縣、其他渤海沿海

比目魚	ヒラメ	七月—九月	興城、綏中、莊河、蓋平沿海
偏口魚	カレイ	五月—九月	莊河、綏中、沿海
鮫魚	ヒラ	五月—七月	營口、錦縣、莊河沖
青皮魚		六月—七月	蓋平、復縣、沿海
白米子魚	イシモチ	七月—七月	蓋平、復縣、綏中、莊河、安東沿海
大刀魚	タチウオ	八月—十月	復縣、興城、綏中、莊河沿海
對蝦	エコウラビ	五月—七月	蓋平、錦縣、興城、綏中、莊河沿海
海蟹	カニ	五月—八月	沿海各所
海蝦	エビ	四月—十月	
蛤子	ハマグリ	五月—九月	營口、盤山、沿海

(ハ) 漁撈法

現在行ハレテキル漁業ハ定所漁業、帆船ニヨル遊動漁業等ノ沿岸漁地ヲ主トスルモノデ末ダ隣接關東州ニ於ケルガ如キ近代の漁業形體ヲ執ルマデニハ至ツテナイガ永年ノ歴史ヲ有スルダケニ勿論我國獨特ノ發達ヲ見セテキルモノモ尠クナイ。以下主要漁業ニ就イテ其ノ概略ヲ述ブレバ

定所漁業 梳網漁業、張網漁業、釣籠網漁業、底刺子漁業等ノ定置漁業其ノ他大拉網漁業ノ如キ定所拉網漁業ガ主ナルモノデアル

(A) 梳網漁業 本漁業ハ干潮時魚類ノ退路ヲ遮斷スル様漁具ヲ定着裝置シ潮汐干満ノ差ヲ利用シテ爲ス漁業デ梳網、小邊網、二扣網、毛扣網、改良梳網、條梳網等ノ漁具ガ使用サレ蝦、青皮魚等ヲ主要漁獲物トスル、此等ノ漁具ハ普遍的ニ分布シテキルガ條梳網ハ沿岸ノ靜穩ナ内灣ニ設置セララルヲ特長トシ又二扣網ハ特ニ黃海沿岸ニ發達シテキル

(B) 張網漁業 本漁業ハ潮流ニ沿ヒ囊網ヲ定着装置シテ爲ス漁業デ
當初ハ山東省ヨリ傳來シタモノデアアルガ漁法ガ比較的簡單ナノ
ト淺海ノ多イ我國沿岸ニハ好適ノ漁具デアアル爲急速ニ普及ヲ見
境網漁業ト共ニ沿岸定置漁業ノ雙壁ヲナシテキル。

漁具ハ四種類アリ、大張網、小張網ハ柱木ニヨリ連接張置サレ
ル關東州デノ所謂駐木漁業デ潮流ノ方向一定セル所ヲ漁場トシ
復州灣、營口ニ界溝、安東大東溝ガ著明デアアル。袖網ハ囊網ガ
隨時旋回シ得ル様装置サレルモノデ潮流ノ方向不定ナ漁場ニ使
用サレ網ハ駐木ヲ用ヒズ錨ニヨリ定置サルモノデ沖合深所
ノ操業ニ適シ鮫魚圈、熊岳河地方ニ多イ何レモ大小蝦類ヲ目的
トシ其ノ他黃花魚、鮫魚等モ漁獲サレル

(C) 鬚籠網漁業 渤海南部ノ東西兩岸(復縣、蓋平、錦西、興城沿
岸)ニ行ハレ比較的大規模ナ漁業デアアル、漁具ハ柵網ニ酷似シ
魚捕囊ヲ有スル圍網(身網)及柵網(框網)ヨリ成リ沿岸ニ回

游シ來ル黃花魚、鮫魚、對蝦ヲ主トシテ漁獲スルモノデアアル

(D) 底刺子漁業 本漁業ハ普通ノ底刺子網漁業デ柱木ニヨリ張置サレ
水深二十尺位ノ所ヲ漁場トシ鮫魚ノ漁獲ニ用ヒラレル

(四) 大拉網漁業 本漁業ハ大規模ナ地曳網漁業デ特ニ廣大ナル網曳場
ヲ必要トスル關係上好適ナ漁場ニ乏シク余リ將來ヲ期待シ得ルモ
ノテナイ、現操業數モ全沿岸ヲ通ジテ僅ニ十九縣^統デアアル

游動漁業 主ナルモノトシテ掛網漁業、拉網漁業、撤網漁業、鈎鈎
漁業ノ四種デアアル

(A) 掛網漁業 本漁業ハ魚類ヲ網地ニ纏終サセ又ハ網目ニ刺サラシメ
テ爲ス漁業デ漁網ヲ柱木又ハ錨ニヨリ一時定置セシメル掛網漁業
ト漁網ヲ潮流ニ流ス流網漁業ノ二種ガ行ハレテキルガ何レモ漁船
ハ帆船デアアル

掛網漁業ニ使用サレル漁具ハ掛網、崩網、^嚙網ノ三種デ漁獲物ハ
對蝦、黃花魚、^鮫魚デアアルガ主トシテ蝦ヲ目的トスルモノデ

アル流網漁業、本漁業ニ使用サレル流網ハ浮刺網デアル、掛網、崩網ト同様非常ニ普遍的ナモノデ席ク黄渤海兩沿岸ニ分布シ主タル漁獲物ハ鱈魚及鯨魚デアル

(三) 拉網類漁業 本漁業ハ帆船ニヨル底曳網漁業デ一船^隻ニヨル撥拉網漁業ト二艘曳ニヨル袴襠網漁業ノ二種ガ行ハレテキル

撥拉漁業 渤海沿岸ニ行ハレ現在操業數ハ六百六十統^ア重要漁業ノ一デ漁獲物ハ蝦、蟹ヲ主トスル

袴襠漁業 漁網ハ前者ヨリ大キク且網口ニ袖網ガ附サレテキルノガ特長デ紅娘子魚、其ノ他雜魚ヲ目的トスル、漁場ハ黄海沿岸^微テ現操業數約百統ノ中八割ハ鳳城縣ヲ根據トシテキル

(四) 撒網漁業 本漁業ハ水面ヲ一定セズ漁網ヲ引廻シ之ヲ繰返シテ爲ス漁業デ代表的ナモノハ風網漁業デアル

風網漁業ハ滿洲支那獨特ノ漁業デアリ從來ハ二艘ノ帆船ヲ用ヒ操業シタモノデアルガ現在ハ一艘ニテ即チ片手廻シニ漁網ヲ引

廻シ左右兩舷ヨリ之ヲ手繰リ揚網スル様ニ改良セラレテキル、黄花魚ヲ主トシテ鱈魚、鯨魚等ノ漁獲ニ用ヒラレ現在操業數ハ營口、蓋平地方ヲ根據トシテ約二百三十隻^デ是等ガ熊岳城沖ノ黄花漁期ニ臨東州出漁船約二百隻ト入亂レテ操業スル様ハ實ニ偉觀デアル

(四) 鈎釣漁業 本漁業ニハ餌料ヲ用フル餌鈎漁業ト然ラザル空鈎釣漁業トガアル

餌鈎漁業 延繩ノ兩端ニ沈子及浮子ヲ附シ海中ニ裝置シテ置ク鈎釣、鈎繩ノ一端ニ分銅ヲ附シ海中ニ投入シ一端ヲ舳舩ニ保持スル手釣及一本鈎(單鈎釣)ノ三種ガアルコノ中重要ナノハ鈎釣漁業デ黄海沿岸二百五十隻、渤海沿岸五百二十隻ノ操業ヲ見テキル

空鈎釣漁業 本漁業ハ餌料ヲ用ヒザル銳利ト空鈎ヲ裝置シタ延繩ヲ用ヒル漁業デアツテ快鈎ト滾流ノ二種ガアリ快鈎ハ中層ニ

裝置シテ黄花魚、鱗刀魚等ノ中層魚類ヲ目的トシ滾鈎ハ紅娘子魚、遍口魚、榻板魚等ノ底棲魚類ヲ目的トシテ極メテ海底ニ接近シテ張置サレルモノデアル、目的魚種ノ關係上滾鈎ハ渤海方面主トシテ營口沿岸ニ又快鈎ハ黃海方面主トシテ莊河附近ニ多

イ 取引狀況

我國沿岸海產物約二百五十萬圓ノ大部分ハ鮮魚トシテ取引セラレ其ノ内約二割ガ鹽乾品ニ製造サレテキル。

鮮魚ハ運搬保藏施設上遠距離輸送ニ適シナイノト北滿地方ニハ廉價ノ淡水魚ガ豐富ニアリ之ニ對抗シ得ナイ等ノ其ノ取引範圍ハ大体新京ヲ限ラトスル南滿沿線ノ主要都市ニ限ラレ大部分ハ地賣デアツテ沿岸又ハ產地附近ノ都邑ニ消費セラレテキル、之ニ反シ鹽乾品（黄花魚、鱈魚、鱗刀魚、大口魚、蝦類）ハ敍上ノ困難ナキト一面國內鹽價高キ爲大衆ニ親迎サレ全國殊ニ農村地方ニ確實ナ

販路ヲ有シテキル、而シテ之等水產物ノ販賣機構ハ大体三段ニ分タレテキル第一ハ原產地ニ於ケル漁商對漁夫間ノ取引デアルガ之ハ漁期前ニ漁夫ニ漁業資金ヲ貸與スル關係上漁獲物ハ一切漁商ノ手ニヨリ販賣セラレ此ノ間ノ手数料ハ舊慣上漁獲物ノ種類其ノ他ニヨリ異ルガ大体一割五分乃至一割八分ガ通例デアル、第二ハ原產地漁商ト仲繼地或ハ消費地タル新京、奉天、哈爾濱、吉林其ノ他ノ主要都邑ノ糧棧、雜貨商、代理店、運送店等ノ間ニ行ハレ鮮魚ハ運送店、代理店ガ主テ鹽乾品ハ糧棧、雜貨商ガ主テ委託ノ場合ハ鹽乾品ハ指値ガ行ハレルガ鮮魚ハ保藏設備ナキ爲成行相場デアル。此ノ間ノ手数料ハ賣買雙方ヨリ五分宛、代金ノ決済ハ一月テ永年ノ取引關係ノアル者ノ間ニハ節季拂等ガ習ヒラレルガ鹽乾品ハ現品ガコレラノ仲介業者ノ手ヲ離レタ時ヲ以テスルノガ通例ノ様デアル、取引ノ單位ハ百斤ヲ以テスルガ北滿地方デハ籠（百七十斤入）ガ用ヒラレ一割ノ入目ガアル、第三ハ仲介業者對小

賣商デ極少數ハ店舗ヲ有シ產地ト直取引ヲナスモノモアルガ大多數ハ所謂市場ノ零細ト露店商デ前記ノ仲介業者ニ專屬シテキルモノデ相對取引ガ行ハレル

原產地ニ於ケル取引中心地ハ黃海側デハ安東、渤海側デハ營口、錦縣ガ其ノ雄ナルモノデ安東ハ安奉線一帶ニ營口ハ南滿京濱線ヲ中心ニ錦縣ハ遼西、熱河地方ニ夫々背後地ヲ有シテ居ルガ其ノ中輻ヲ爲スノハ營口デ年額百萬圓内外ノ取引ガ行ハレ其ノ内鮮魚ハ主トシテ昨年同地漁商ヲ中心トシテ設立セラレタ營口水產股份有限公司魚市場ニ上場サレ年額約四十萬圓ニ上ツテキル其ノ他之ト相前後シテ錦縣ニモ國鐵ガ主トナリ錦縣漁業市場ガ設立サレテキルガ之ハ單ニ錦縣自体ノ消費市場デ未ダ產地市場トシテノ機能ハ充分發揮セラレテキナイ

二 水產關係施設

(1) 營口水產局

漁業ノ實狀ト建國當初諸般ノ國情ニ鑑ミ差向キ水產行政ハ本部直屬ノ官廳ニ於テ統一施行スルコトトシ先ツ海洋方面ニ於テ營口水產局ヲ設置シ一般水產行政ト水產試驗調査ヲ行ツテキル

(2) 漁業處分

從來漁業ノ根據法規ナク漁業ニ關スル取扱區々ニ亘ル爲在來ノ慣行漁業ニ付テハ其ノ業態ヲ届出シメ逐次之ガ整理調節ヲ圖リ、新規漁業ニ付テハ許可ヲ受ケシメツツアル。

(3) 黃海北部及渤海ニ於ケル漁業保護區域ノ設定

水產動植物ノ蕃殖保護及漁業ノ秩序維持ヲ圖ル爲康德元年十二月二十四日利害關係ヲ同ジウスル滿洲、朝鮮及關東州各關係官廳ノ協議ニ依リ黃海北部及渤海ノ沿岸一帶ニ漁業保護區域ヲ設定シ其ノ區域内ニ於テハトロール漁業及機船底曳網漁業ヲ禁止スルコトトシ康德二年五月一日ヨリ之ヲ實施サレテキル

(4) 熊岳城前海出漁協定ノ改訂

熊岳城前海ニ於ケル夕子其ノ他ノ漁業ノ入漁關係及保護ニ關スル
舊政權當時關東^都督府トノ間ノ協定ハ其ノ後ノ推移ニ伴ヒ改訂ヲ
要スベキ點アルニ至リタルヲ以テ康徳元年十一月十二日協議ニヨ
リテ改訂セラレタ。

(5) 水産市場ノ統制監督

水産物取引機關ハ水産業ノ消長ニ至大ナル影響ガアル爲水産市場
ノ設立ニ付テハ本部ノ許可ヲ受ケシメ之ヲ統制スルコトナツタ
(6) 漁業法令ノ制定

漁業ニ關シテハ未ダ據ルベキ法規ナク漁政ノ運用上頗ル支障アル
ヲ以テ之ガ制定ニ着手シ目下立案中デアル